



玉名市立梅林小学校

6学級 児童数59名 職員数13名

校訓 正しく 強く 温かく

学校教育目標

**ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、
自ら学び生きる力を身につけた子どもの育成**



めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
○一人一人が尊重され、愛情と信頼にみちた学校 ○活気あふれ、規律ある学校 ○命を大切にし、いたわりのある学校 ○美しく整備され安全で安心な学校 ○家庭・地域に信頼され開かれた学校	○健康で安全に生活する子ども ○心身共にたくましく、最後までやりぬく子ども ○生涯にわたって運動に親しむ子ども ○だれにでも元気にあいさつができる子ども ○自他を大切にし、思いやりの心を持ち、なかよく 助け合う子ども ○自ら考え、学び、主体的に判断し正しく行動できる子ども	○心身ともに健康で人間性豊かな明るい教師 ○人権感覚を磨く教師 ○子どもの可能性を伸ばす情熱と使命感を持つ教師 ○研修に努め、一時間の授業を大切にする教師 ○協力を惜しまず何事にも率先垂範する教師 ○児童や保護者、地域の信頼に応える教師

◇ 豊かな心の育成 ◇



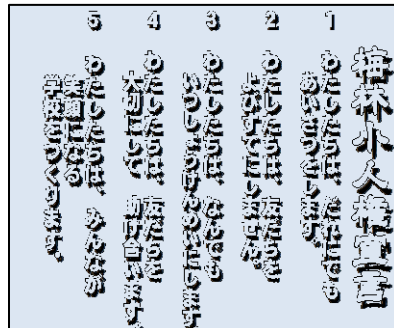
梅林小学校では、「立ち止まって元気なあいさつをしよう」「学習の姿勢を気を付けよう『ピン、ベダ、ジー』」「時間いっぱいそうじをがんばろう」の三つのことに特に力を入れて全校で取り組んでいます。これまでの取組で正門であいさつする子どもたちの声が校舎の中まで聞こえるようになりました。さらに、校内では職員室や他の学年の教室まで行ってあいさつをする声が響くようになりました。9月の生活目標に、「気持ちの良いあいさつと返事をしよう。」「姿勢を正しくして学習しよう。」を掲げて取り組みました。そのおかげで、挨拶はもちろんですが、学習姿勢もとても良くなりました。

また、本年度は染森PTA会長様の呼びかけで、保護者による「元気にニコニコ、あいさつ運動」が始まりました。月の初めや校内行事の朝等に、正門でのあいさつ運動を定期的実施されています。保護者にとっては、他の地区の子どもたちの登校の様子を直接見ることができる機会となっています。最近では、毎回子ども達のために励ましのお言葉をかけていただいて、子ども達の声もより一層大きくなってきました。

◇ 児童の年間目標と「梅林小人権宣言」 ◇



企画・放送委員会からの年間目標発表



梅林小人権宣言完成(9月)

5月、企画放送委員会から年間目標「梅林大好きかがやく未来へ～当たり前を当たり前にできる一人一人がかがやく梅林っ子をめざして～」が発表されました。これは各委員会活動の合い言葉となっています。

また、9月の委員集会では、「梅林小人権宣言」が新たに作られて発表されました。校内で、子ども達はなかよし班(縦割り班)での給食が行われたり昼休みになかよし班対抗のドッジボール大会などが行われたりして楽しく過ごしています。五つの中での子ども達の課題の一つとして、子ども達はお互いの名前を呼び捨てにすることがあります。今後もお互いの人権を大切にするためにも、「さん、くん」をつけて呼び合うように粘り強く指導を続けていく必要があります。

◇ 学習規律の徹底を目指して ◇



美しい姿勢



「ピン ベタ ジー」の推進の様子

9月は、「ピンベタジ一月間」でした。授業中の学びの姿として、正しい姿勢をとることで、「やる気がおこる」「集中力がつく」「持続力がつく」「内臓の働きがよくなり、健康的になる」等いろいろなメリットがあるといわれています。体育館で全体指導した後、各クラスの担任の先生方のでいいいな声かけによって、1年生から6年生までの児童が一人一人意識するようになって身に付いてきました。

研究テーマ

学ぶ意欲を育てる国語科学習の創造

～「学び合い」「振り返り」の言語活動の工夫を通して～

本校では、上記を研究テーマにして、実践を積み重ねています。本年度も、国語科を中心に取り組んでいます。取組の工夫として、研究授業の公開(大研)の他に、ビデオ研を導入して授業力の向上に取り組んでいます。本研究では、子ども達が確かな学力をつけるために、「学び合い」「振り返り」の言語活動に焦点化して研究を進めることで、より効果的に思考力・判断力・表現力をつけることができると考えています。

具体的な取組として、昨年度から全学級で取り組んでいる「めあて」「一人で」「みんなで」「まとめ」「ふりかえり」というカードを活用してきました。今年度は、さらにどの学年でもどの教科でも活用できるように努めています。また、学習規律を徹底する取組として、「ピンベタジー強化月間」や腰骨を立てて椅子に座る「立腰」の仕方を指導した後全校一斉で取り組んでいます。



1年生算数

9月には強化月間としてこの2つを重点的に学校全体で取り組みました。学校全体で取り組むことで、「以前よりも授業中の姿勢が良くなった。」「姿勢は言われると正すことができる段階から、自主的に気を付ける児童が見られるようになった。」「ピンベタジーが定着しつつある。」という声が聞かれるようになりました。その一方で、「まだ個人差がある。」「継続的指導が必要である。」「担任が言わないとできない」等の課題があります。全体的には、姿勢が良くなり子ども達は、大きな声で音読したり、まっすぐに手を挙げて進んで発表したりして学習する姿が見られるようになりました。学習規律が定着してきましたが今後も継続した取組の必要性を感じています。これからは自分の考えを持ち、互いの考えを尊重しながら、聞き、考えを深め合うことができる「学び合い」の研究を深めていきたいと考えています。



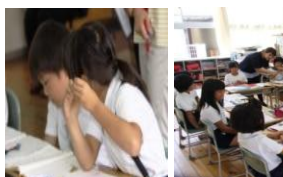
5年生家庭科



5年生国語授業



3年生国語授業



ペア学習



2年生国語授業

◇ 開かれた学校 ◇



地域との連携

6月に梅林小教育を応援する会や老人会、保護者の協力を得て、田植えを実施しました。天気に恵まれて豊作になりそうですが、猪の被害に遭わないように願っています。



梅林保育園児と1・2年生と梅林小を応援するみなさんの写真

6月に梅林小教育を応援する会の皆さんの協力を得て、1・2年生が薩摩芋の苗植えを実施しました。11月には梅林保育園児と1・2年生と一緒に収穫する予定です。



PTA活動の充実

7月に有明広域消防署員と救急救命士の高田氏に協力を得て、心肺蘇生法体験を実施しました。保護者の100%が参加しました。



読み聞かせ

地域のボランティアによる読み聞かせを月2回木曜日に実施しています。児童達は毎回楽しみにしています。着実に本好きな子どもが増えてきています。



ホタル観賞会

5月24日、梅林町づくり委員会の本田さんのご協力のもとホテル観賞会が開催。本校の企画委員さんが司会進行をしている様子です。今年も多く参加が見られました。



さわやか集会のようす

精粹園の方々と一緒に歌ったり、簡単なゲームをしたりすることを通して、障がい者の方々への認識と理解を深め、人権感覚を高めるために「さわやか集会」が7月に行われました。